

可視総合光線療法

効果と作用



①血液循環の改善

01.

紫外線による血管の拡張

02.

可視光線と赤外線により、身体を温めて血行を改善

03.

副交感神経を刺激し、血管を拡張させて血行を改善



血行改善をすることは、すべての病気に有効である

②光化学作用

紫外線や可視光線により**ビタミンD**生成される

01.

骨の強化(骨粗鬆症、変形性関節症、骨軟化症)

02.

生活習慣病、アレルギー性疾患への治療と予防

03.

インスリン分泌の調整(糖尿病)

04.

血圧降下作用(高血圧症)

05.

角化細胞の増殖抑制(皮膚炎、魚の目やタコ) etc

③消炎鎮痛作用(腫脹吸収)

可視総合光線療法に含まれる紫外線・可視線・赤外線の総合作用により

- ・収縮した血管の拡張
- ・緊張した筋肉を緩める
- ・発痛物質を速やかに除去
- ・痛みの鎮痛・軽減
- ・炎症の抑制・腫れの吸収

適応症

- ◎打ち身や打撲、捻挫
- ◎関節痛、神経痛
- ◎急性・慢性の痛み除去

④生体リズムの調整作用

- ・可視光線により体内時計のズレを調整可能
- ・生体リズムに関係する脳内ホルモンの分泌を促進

適応症

- ◎不眠症・睡眠障害etc
- ◎季節性うつ病

⑤痒みの鎮静作用

- ・痒みの原因である炎症や免疫異常を是正
- ・紫外線は皮膚の痒みを抑える

適応症 ◎アトピー性皮膚炎や湿疹etc

⑥神経機能改善作用

- ・光化学作用と温熱作用による神経障害の回復と機能活性化

適応症

◎脳卒中後遺症(手足の麻痺)

◎神経麻痺

◎手足の痺れ

⑦ コレステロール低下作用

- ・糖質代謝や肝臓の働きを改善し、細胞内へのコレステロールの吸収促進
- ・紫外線が皮膚のコレステロールをビタミンDに変換することでコレステロールが減少する。

適応症

◎脂質異常の改善

◎動脈硬化の改善

⑧筋力・運動能力向上作用

- ・筋肉への血行を促進し、筋肉・関節が柔軟になる為、筋肉の動きが良くなり運動能力が向上。
- ・光線治療で産生されるビタミンDは筋肉増強作用が期待できる。

⑨睡眠改善作用

- ・全身の血行を良くし、自律神経を調節し、心身の緊張緩和、睡眠に関するメラトニンの分泌を促進し、良好な睡眠をもたらす。